

◆開催概要

日時：11月8日（火） 18:30～21:30

場所：市役所6階大ホール 出席者：検討会メンバー21名

まちづくりの方針について出た主な意見

まちづくりの方針については、3班で意見を出し合った結果、大きく以下の4つの方針に意見の集約、共有が図られました。

活力と賑わいのあるまちづくり

- ・ネット時代は地産地消→地産地商 ・活気ある安心に住めるまちを
- ・賑わいのあるコンパクトシティ（住・商・民・業を含めて） ・景観は守りたい
- ・世界中の人が一度は住んでみたくなるまち並み（まちではなくまち並み）
- ・静かさと樹木が並木としてあり気品あるまちづくり ・宮古市の産業をどうするか
- ・お堀があり鯉が泳ぐような、舟遊びのできるまち並み ・住む人が減らないまちづくり
- ・素敵なメロディが流れる上品な賑わい
- ・高い防潮堤だと海が眺望できない ・若者の雇用の確保 ピンチをチャンスに
- ・子供の元気な声が聞こえるまち ・若者が集まるまち
- ・10年20年先を見据えたまちづくり ・雇用の確保、産業の振興 ・漁業の盛んなまち
- ・商業が賑やか ・自転車が行きかうまちづくり ・末広町商店会の活性化に向け道路拡張

ひとにやさしいまちづくり

- ・大通り、向町に集会所が欲しい ・大通り会館（旧消防署）を解体しないで活用して欲しい
- ・老人が安心して住めるまち ・人口年齢構成の変化に対応したまち並み
- ・若い人は年寄りに必ずなる ・隣り同士向かい同士の声が飛びかうまち
- ・まちなかに安全、安心、コミュニティ ・高齢者が多いので災害時に連絡できるようにする
- ・国、県、市で認識を共有してください ・弱者も安全のまちづくり
- ・高齢者が住めるまちづくり（市中心部に） ・安全に子育ての出来る地域
- ・若者が住めるまちづくり ・若いファミリーの住めるまち

若者や女性が参加できるまちづくり

- ・若者、女性が参加できるまちづくり ・若者の参加を促す ・若者の意見を入れる
- ・市職員の若い人たちにリーダーになってもらいたい

防災を強化し安全・安心にくらせるまち

- ・大通りに3階建てのデパートのようなものが欲しい（避難ビルを兼ねる） ・防災の強化
- ・元の土地に家を建てられるようにして貰いたい（大通り1丁目） ・横町の防砂ダム
- ・平地が少ないので高い土地を削って埋め立てをしてください ・防災警報を充実
- ・宮古市は危機管理がない ・災害の少ないまち ・避難所の改善
- ・津波だけではなく洪水や火災からも安全なまち ・一日も早く災害前のまちになってもらいたい
- ・防災タワー（5分から10分で避難） ・向町地区は夜暗いので街灯が欲しい
- ・いつでも誰でも逃げられる道づくり ・高齢化が進み避難者をどうするか
- ・緑ヶ丘の道路を嵩上げ ・信号機を早く設置
- ・解体可の跡地の利用（地権者は土地利用をどうしようとしているのか）

川を利用した安全と安らぎのまちづくり

- ・旧山口川排水路の変更 ・水脈見直し ・山口川支流はどうするのか
- ・山口川の整備 ・緑ヶ丘浸水地区の改善
- ・旧山口川の改修（中心地の中を流れている） ・内水を考えてください
- ・山口川両側の道路の嵩上げ ・川を利用した安全と安らぎのまちづくり
- ・閉伊川堤防の嵩上げ ・宮町・南町排水ポンプの設置

用地別の土地利用の方針について出た主な意見

用地別の土地利用の方針について、3班で意見を出し合った結果、以下の図に示すような意見が挙げられました。特に、山口川の氾濫による危険性を指摘するような意見については3班ともに出ています。その他、避難場所や避難路の見直しについて意見の共有が図られました。

